



読者の皆さまの声をご紹介いたします。  
 ありがとうございます。

●「巻頭特集」が参考になった。よこはま動物園ズーラシアの増井園長は、以前テレビで見たときも話が面白かったが、この記事でも動物と人間とのつながりがある話で「なるほど」と感じるものがいくつもあった。特に動物の子育ての話には教えられた。  
 (長野県・青ちゃんさん)

●「今すぐ役立つきんゆう知恵袋」での、家計簿を付け、お金の収支を把握する大切さに共感しました。大学生になった息子にも読ませました。  
 (宮城県・ひろこさん)

●「知るぽるとミュージアム」では昭和26年当時の背景を載せてほしかったです。  
 (静岡県・マリモルさん)

●「金融教育の現場レポート」には、いつも感心させられます。いつか私立高教諭である私も現場で実践してみたいです。  
 (愛知県・平野忠さん)

●怖いから知らなければならぬ、怖くても知ることを避けてはいけない、それが金融学習だと思っております。幼い子

には分かりやすく、大人には指導者の立場になるに当たっての心構えなどをバランスよく掲載してくださいね。  
 (秋田県・鎌田奈緒子さん)

●「金融広報だより」で子ども向けのホームページコンテンツ「おかねのね」を知り、早速アクセスしました。テーマが4コマまんがになっているなど、工夫されていてよかったです！  
 (秋田県・百太くんママさん)

●「知るぽると最前線」で紹介されていた金融教育フェスティバルは面白そうですね。子どもたち楽しく興味を持って金融に親しんでもらうよい機会を提供しているなあと思いました。  
 (香川県・藤岡弘美さん)

●金融の雑誌はどちらかというと堅い内容になりがちです。そんな中で、この冊子にほっとさせるコーナー「将来のまなざし」や「趣味の散歩道」があるのはうれしい限りです。旅シリーズなどを掲載すると、もっと身近なよい雑誌になるのではないかと思います。  
 (石川県・山尾武次さん)

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。平成20年8月30日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、いただいたおたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「図書カード」をプレゼントいたします。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう一工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけ
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

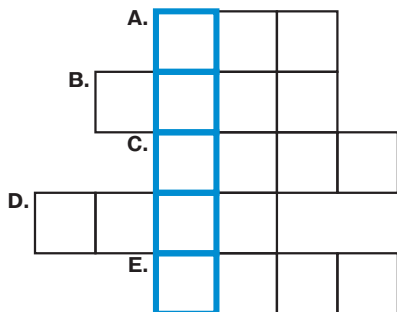
郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
 日本銀行情報サービス局内  
 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛  
 メール : info@saveinfo.or.jp  
 FAX : 03-3510-1373  
 金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

知るぽるとクイズ

以下のヒントでヨコに言葉を入れていくと、タテの太枠にキーワードが完成します。本誌に登場したある言葉ですが、さて何でしょうか？

キーワードはな～に？

- A. 豆腐を作るときの大豆のしぼりかす
- B. 「きびだんご」と「桃」で有名な県
- C. ワイシャツにつける装飾品
- D. 金銭の代わりに物で税を納めること
- E. ことわざ。馬に聞かせても無駄なもの



※答えは次号掲載

●前号の答え

②個人年金保険

個人年金保険は、公的年金ではなく、民間金融機関が提供する金融商品です。多様な商品がありますので、選択の際には内容をよく検討しましょう。